

たかが便秘！されど便秘！その②

今回は日本消化器病学会専門医の八木専医師に

「便秘」について伺いました。

した。

治療に関してはまずは

生活習慣を見直すのが良いと思います。水分をとること、3食きちんと食べることが重要です。また、意欲も大事です。

▲八木専 医師

便秘の患者様の中にはト

イレに行かないことが多

く見受けられます。最近

の国内の便秘患者の研究

では便秘患者の6割に

は便秘薬を飲んで

いてもトイレに行かない、

行けず、行けず、行けず、

行けず、行けず、行けず、

行けず、行けず、行けず、

行けず、行けず、行けず、

けましょう。

最近多くの便秘の薬が

登場して治療の選択肢が

増えました。その中で最

も使われる薬は酸化マグ

ネシウムで、次いでセン

ノシド系の刺激性下剤

ですが、この2つの薬

の使い方に注意が必要で

す。酸化マグネシウムは

血液中のマグネシウム濃

度が高くなりすぎないよ

うに、特に腎不全の患者

には定期的に血液検査

することをすすめられて

います。また刺激性下剤

は漫然と毎日使うのでは

ており、毎日使うと逆に便秘になりやすくなります。以上から内服する場合は医師の指導のもと、適切に使う必要があります。



が水様便泥状便で、バナ

ナ状の便はわずか1、2

割しかありませんで

治療とセットで決まっ

た時間、特に直食後など

にトイレに行く習慣をつ

けましょう。

最近多くの便秘の薬が

登場して治療の選択肢が

増えました。その中で最

も使われる薬は酸化マグ

ネシウムで、次いでセン

ノシド系の刺激性下剤

ですが、この2つの薬

の使い方に注意が必要で

す。酸化マグネシウムは

血液中のマグネシウム濃

度が高くなりすぎないよ

うに、特に腎不全の患者

には定期的に血液検査

することをすすめられて

います。また刺激性下剤

は漫然と毎日使うのでは

なくどうしても便が出な

いで困ったときのみに頓

用で使うことが推奨され

社会福祉法人
恩賜財団

済生会今治病院

今治市喜田村7丁目1番6号

<https://www.imabari.saiseikai.or.jp/>

☎0898-47-2500

